

## バリアフリー

### 車両のバリアフリー

#### ◆ 車両内のさまざまな取り組み

平成4年より車いすスペースを順次設置しており、平成21年3月31日現在で330両となっています。

また、出入口上部に車内案内表示器を設置し、列車種別、行先、停車駅、次駅で開くドアの案内などを文字などで表示するとともに、非常時に乗務員と直接通話ができる非常通報器を600、700、800、3000、5000、7000、7200、9000、10000系各車両に搭載しています。



▲車いすスペース



▲車内案内表示器



▲非常通報器

#### ◆ 優先座席

お年寄りや体の不自由な方、妊娠されている方などのための優先座席ゾーンの明確化を図っています。従来から窓ガラスに貼りつけていたステッカーに加え、座席の背もたれはオレンジをベースにピクトグラム※を印刷したものとし、カーテンは「優先座席」マークとピクトグラム

を印刷したものに、また特急車両や快速急行車両では座席の枕カバーはオレンジ色をベースにピクトグラムを配したものにしています。

なお優先座席ゾーンでは、携帯電話の使用禁止についてすべてのつり革に「電源OFF」シールを貼りつけ、注意喚起をしています。

※情報や注意を示すための絵文字

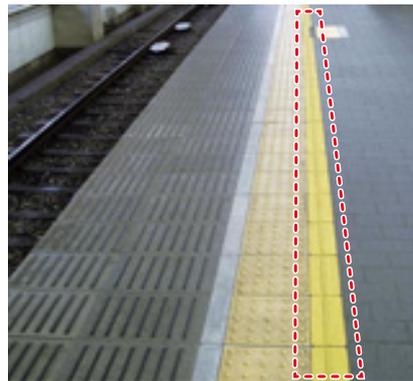


▲優先座席

### 駅のバリアフリー

#### ◆ ホーム点字ブロック内方線の設置

ホーム点字ブロック内方線（ホーム縁端警告内方表示ブロック）を設置することで、視覚障がいをお持ちの方がどちら側（電車側かホーム側か）に居るのが分かるようにし、「電車の接近」による「接触」や「ホームからの転落」などの事故を防止することを目的に、各駅に順次設置する工事を行っています。

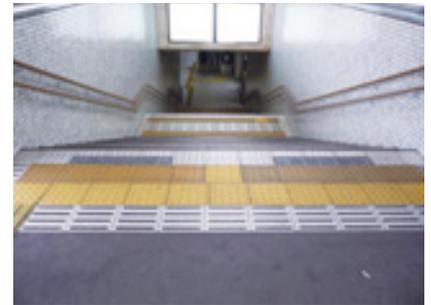


▲突起物でホームの内側を示すホーム点字ブロック内方線

#### ◆ 安全で快適な駅への工夫

国および地方自治体などと協力し「バリアフリー新法」の対象となる5,000人以上のお客さまが乗り降りされる駅にエレベーターやスロープなどを順次設置しています。平成20年度は大和田駅にエレベーター、スロープ、多目的トイレ、墨染駅にスロープ、三室戸駅に多目的トイレを

それぞれ新設しました。平成21年3月末現在、対象駅57駅のうち38駅のバリアフリー化が完了しています。



▲二段手すり



▲大和田駅スロープ



▲大和田駅エレベーター



▲ワイド改札機